

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/04/14号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



通商リスクの高まりで、一時55ドル台まで急落

NY原油先物相場は、1バレル=55.12ドルまで急落して2021年2月以来の安値を更新した後、61ドル台中盤まで切り返しており、前週比では小幅安に留まった。通商リスクの高まりを背景に、週中盤にかけては上値の重い展開になった。トランプ米大統領が4月2日に発表した相互関税が、世界経済の減速を促すリスクが警戒されている。ただし、トランプ大統領は通商協議を求めている国に対しては、相互関税の10%を超える上乗せ分については90日間停止すると発表しており、通商リスクの軽減期待から週後半は下げ一服となった。

引き続き通商環境に対する関心が高いが、強弱評価が割れている。相互関税の一部が90日間停止されたことはポジティブだが、米中間では関税の報酬が続いており、4月12日時点では米国の対中関税が145%に対して、中国の対米関税が125%に達している。両国の貿易関係に壊滅的なダメージが生じる可能性が高まっている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（4月4日時点）は、原油が前週比255万バレル増、ガソリンが160万バレル減、石油精製品が354万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

通商リスクの上値圧迫が続く、イラン情勢とドルには要注意

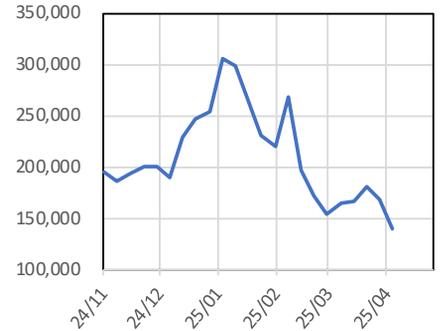
トランプ米政権の相互関税に対する警戒感から、上値の重い展開が続きやすい。相互関税の一部停止はポジティブだが、米中間通商環境は悪化の一途を辿っており、高いレベルの先行き不透明感が維持される。ともに貿易を停止させるレベルの関税が課せられる中、今後は関税以外の分野でも米中間の対立が激化する可能性がある。仮に米中両国が通商協議に入ると急反発する可能性も抱えているが、このまま通商リスクの緩和・解消が難しい状況が続くと、55~60ドル水準での取引時間が増える見通し。

前週は米エネルギー情報局（EIA）が世界石油需要見通しを引き下げたが、今週は14日に石油輸出国機構（OPEC）、15日に国際エネルギー機関（IEA）の月報が公表される。ここでも需要見通しの引き下げといった動きがみられると、需給緩和見通しを織り込む動きが強化されよう。また、米原油在庫は増加傾向が続いている。さらに在庫積み増しが確認された際にも下振れリスクが高まりやすい。

一方、イラン情勢を取り巻く緊張感が高まっている。核開発問題を巡るトランプ米政権の圧力は強化されている。12日に米国とイランの高官協議が行われているが、トランプ政権がイラン産原油に対する追加制裁、さらには軍事的な圧力を強める可能性には注意が必要。ダウトレンドに修正を迫ることは難しいとみられるが、短期上振れリスクとしての注意は求められる。

また、ドル安傾向が強くなっていることにも注意が必要。ドルインデックスは年初来安値を更新している。「米国売り」の様相を呈し始める中、ドル安がさらに加速するとドル建て原油相場は為替要因で上昇する可能性がある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

